

各高等学校長 様

栃木県高等学校体育連盟会長 吉成 卓  
 栃木県高体連柔道専門部長 渡邊佐知夫  
 （公印省略）

## 令和4（2022）年度栃木県高等学校新人柔道大会の開催について

標記大会を下記のとおり開催することといたしました。  
 つきましては、貴校関係職員（部活動指導員等）・生徒の参加について特段の御配慮をお願いいたします。

## 記

- 1 主 催 栃木県高等学校体育連盟 栃木県教育委員会
- 2 共 催 栃木県柔道連盟
- 3 主 管 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部
- 4 期 日 令和4年11月11日（金）開場8：00 男女団体試合 審判監督会議10：00予定  
 令和4年11月12日（土）開場8：00 男女個人試合 審判監督会議 9：30予定
- 5 会 場 ユウケイ武道館（栃木県総合運動公園内武道館 宇都宮市西川田 4-1-1 TEL028-684-2200）
- 6 競技方法及び規定
  - (1) 試合は国際柔道試合審判規定（最新版：2022-2024）によって行う。
  - (2) 団体試合の男子はトーナメント方式、女子はエントリー数に応じて、リーグもしくはトーナメント方式とする。個人試合は男女ともにトーナメント方式とする。
  - (3) 試合時間について  
 全て3分とする。延長戦（ゴールデンスコア）は時間制限を設けない。
  - (4) 優勢勝ちの判定基準について
    - ①団体試合は、「技あり」または「僅差」以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意で選出して代表戦を行う。代表戦で得点差が無い場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦における優勢勝ちの判定基準は「技あり」以上もしくは指導差が出た時点で勝敗を決する。「僅差」は指導差2とし、「技の内容」と「指導」の重みは【一本勝ち＝反則勝ち＞技あり＞僅差】の順とする。
    - ②個人試合は「技あり」または「僅差」以上とする。技による得点が同等の場合は延長戦（GS）を行い、「技あり」以上または指導差が出た時点で勝敗を決する。「僅差」は指導差2とする。
  - (5) 団体試合における勝敗の決定について
    - トーナメント方式
      - ①勝ち数の多いチームを勝ちとする。
      - ②①で同等の場合は、「一本＝反則勝ち」の多いチームを勝ちとする。
      - ③②で同等の場合は、「技あり」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
      - ④③で同等の場合は代表戦を行う。
    - ※代表戦はその対戦に出場した選手から任意に選出し、勝敗は個人試合に準じて、必ず勝敗を決する。
    - リーグ方式
      - ①チームとしての勝ち数の多いチームを勝ちとする。
      - ②チームとしての負け数の少ないチームを勝ちとする。
      - ③①②で同等の場合は、「一本＝反則勝ち」の多いチームを勝ちとする。
      - ④③で同等の場合は、「技あり」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
      - ⑤④で同等の場合は、「僅差」による勝ちの多いチームを勝ちとする。
      - ⑥⑤で同等の場合は代表戦を行う。
    - ※代表戦は選手を任意に選出し、勝敗は個人試合に準じて、必ず勝敗を決する。
  - (6) 団体試合
    - ①男子5人戦 選手7名（3名以上で出場可）で、試合毎に5名による試合。（合同チーム不可）
    - ②男子3人戦 選手4名（2名以上で出場可）で、試合毎に3名による試合。（合同チーム可）
    - ③女子 選手4名（2名以上で出場可）で、試合毎に3名による試合。（合同チーム可）
  - (7) 個人試合 男女体重別7階級及び男女無段者の部3階級とする。
- 7 参加資格及び制限
  - (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校および中等教育学校・高等専門学校に在籍する生徒。
  - (2) 栃木県高等学校体育連盟に加盟している高等学校生徒および中等教育学校・高等専門学校に在籍し、（公財）全日本柔道連盟に令和4（2022）年度登録している者。
  - (3) 平成16年4月2日以降に生まれたもの。令和4年度に当該校第2学年以下の生徒。但し、定時制・通信制の生徒は第3学年以下とする。同一学年での出場は1回限りとする。
  - (4) 選手は団体・個人試合の出場を兼ねてよい。
  - (5) 転校後、6ヶ月未満の者は、参加を認めない。（外国人留学生もこれに順ずる）ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
  - (6) 外国人留学生は卒業を目的として入学していること（短期留学は認めない）。
  - (7) 団体試合について
    - ①男女とも1校1チームとし、全・定・通の混成は認めない。
    - ②男子5人戦のチーム編成は、監督1名、選手7名の計8名、男子3人戦のチーム編成は監督1名、選手4名の計5名とし、5人戦と3人戦のいずれかの出場を選択し、重複参加は不可とする。（出場人数に満たない場合の選手配列は後ろ詰めとする。）
    - ③女子の編成は、監督1名、選手4名の計5名とする。（出場人数に満たない場合の選手配列は後ろ詰めとする。）
    - ④選手の配列及び体重の制限はない。
    - ⑤申し込み選手に事故が起き、選手を変更する場合は大会当日の審判・監督会議までに、校長の証明書を添えて申し出たもののみ認める。選手変更には制限は設けない。
    - ⑥シードは同年度全国高等学校総合体育大会柔道競技栃木県予選の結果と、各支部新人大会の結果を反映する。「シード権について」参照※1（同年顧問会議配布及び高体連柔道専門部ホームページ確認）

- ⑦外国人留学生のチーム人員は1名以内とする。  
 ⑧合同チームでの参加を推奨する。(男子3人戦及び女子)  
 ⑨順位戦を行う。(男子5人戦8位まで・女子4位まで)  
 (8) 個人試合について  
 ①男子個人試合(7階級+無段者の部3階級) 体重区分は次のとおりとする。  
 ・60kg級→60kg以下の者  
 ・73kg級→66kgを超え73kg以下の者  
 ・90kg級→81kgを超え90kg以下の者  
 ・100kg超級→100kgを超える者  
 ・66kg級→60kgを超え66kg以下の者  
 ・81kg級→73kgを超え81kg以下の者  
 ・100kg級→90kgを超え100kg以下の者  
 ・無段者軽、中、重量級  
 ②女子個人試合(7階級+無段者の部3階級) 体重区分は次のとおりとする。  
 ・48kg級→48kg以下の者  
 ・57kg級→52kgを超え57kg以下の者  
 ・70kg級→63kgを超え70kg以下の者  
 ・78kg超級→78kgを超える者  
 ・52kg級→48kgを超え52kg以下の者  
 ・63kg級→57kgを超え63kg以下の者  
 ・78kg級→70kgを超え78kg以下の者  
 ・無段者軽、中、重量級  
 ③無段者を除く男女各階級は同年度全国高等学校総合体育大会柔道競技栃木県予選の結果を反映する。  
 「シード権について」参照※1  
 ④男女ともに、各校の参加人数制限をしない。  
 ⑤男女個人試合と無段者試合の重複参加は不可とする。  
 ⑥選手の変更は組合せ抽選の前日までに委員長に申し出る。様式は団体試合に準ずる。  
 ⑦外国人留学生の参加人数の制限は設けない。  
 ⑧無段者の体重区分については、申込書に記載された体重から高体連柔道専門部委員会が安全等に配慮して決定し、組合せによって発表する。

- 8 計 量 (1) 日時: 11月11日(金) 9:00~9:50 (変更がある場合は放送で周知する)  
 予備計量: 11月11日(金) 8:30~9:00  
 ※個人試合のみ出場校は11月12日(土) 9:00~9:20 (予備計量8:30~)  
 (2) 回数: 2回まで認める。2回目でクリアしない場合は失格とする。  
 (3) 計量時の服装については、原則として男子は短パン(またはスパッツ)のみ、女子は上がTシャツで下が短パン(またはスパッツ)とする。
- 9 参加申込 (1) 申込み方法 (以下の手順で行い、(2)に示す申込先①・②に必ず両方に送付する。)  
 ①高体連柔道専門部のホームページより申し込みファイル(EXCEL形式)をダウンロードし、データを入力し、プリンターで印刷したものを送付すること。押印の無い物は受け付けない。  
 ※栃木県道連盟 → 栃木県高等学校体育連盟柔道専門部 → 大会要項・申込み  
 ※HPアドレス <http://tochigikoutairenjudo.info/index.html>  
 ②データを入力した申し込みファイル(EXCEL形式)を電子メールに添付し(烏山高校:平野 聖 宛て)電子メールにて送付すること。  
 ③FAXによる申込は不可。大会不参加の場合のみ所定の用紙に記入しFAXにて回答可とする。  
 (2) 申込先 ①〒320-0846 宇都宮市滝の原3-5-70 県立宇都宮高校内 市川敦敏 宛て郵送※使送不可  
 ②電子データ 県立烏山高校内 平野 聖 宛てに送信 [hirano-s01@tochigi-edu.ed.jp](mailto:hirano-s01@tochigi-edu.ed.jp)  
 (3) 申込締切 令和4年11月2日(水) 必着「(1)①. ②ともに」とする。  
 ※以後の申込は一切受付しないので、余裕をもって申込むこと。  
 (4) その他 大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。
- 10 参加料 2,000円(大会当日納入、男女出場する学校は4,000円)
- 11 組合せ 11月7日(月)高体連柔道専門部委員会の責任抽選によって決定する。抽選結果は高体連柔道専門部のホームページで11月8日(火)以降に発表する。
- 12 安全管理 感染予防 (1)大会期間中における安全対策及び緊急時の対応については、栃高体連の「危機管理マニュアル」に則り、適切に対応する。  
 (2)コロナ感染症への対応は、関連する「感染拡大予防ガイドライン」に則り、適切に対処する。  
 ※大会参加1週間前から健康記録を行うこと。なお、健康記録表兼同意書については、高体連柔道専門部ホームページからダウンロードし、大会当日の武道館入場時に提出すること。
- 13 その他 (1)高体連柔道専門部委員会は11月7日(月)9:30~ユウケイ武道館会議室1  
 (2)脳震盪対応について、選手および指導者は下記事項を遵守すること。  
 ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。  
 ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。  
 ③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け許可を得ること。  
 ④当該選手の指導者は、大会事務局および(公財)全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。  
 (3)皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行う。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。  
 (4)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(赤ラベル)を着用すること。帯については青ラベルでもよい。また、女子の黒帯は白線入りの帯は不可とする。  
 (5)氏名・所属校名が入ったゼッケンを縫い付けた柔道衣を使用すること。  
 (6)団体試合出場校は、11月11日(金)受付の際に、初戦の団体試合オーダー表を提出すること。以降、毎試合オーダー表を受付に提出するが、変更が無い場合は試合毎に本部に申し出ること。オーダー表は高体連柔道専門部ホームページからダウンロードすること。  
 (7)大会参加にあたっては、本人および保護者の同意を得ること。  
 (8)8:00開場後、直ちに試合会場の準備を行うので、参加校・選手の協力をお願いします。

※ 新型コロナウイルス感染症の感染状況により変更となる可能性があります。変更等があった場合は高体連柔道専門部ホームページ等を活用し、周知いたします。

栃高体連柔道専門部 委員長 市川敦敏 栃木県宇都宮高等学校 TEL 028-633-1426
---